好きなもの



🎏 『人形から

とどいた手紙 ベルリンのカフカ』

ラリッサ・トゥーリー/文 レベッカ・グリーン/絵 野坂悦子/訳 化学同人

カフカが公園を歩いていると、女の子が泣いていました。お人形がいなくなったと聞いたカフカは、自分は人形の手紙を預かる郵便屋だと言い、次の日から女の子に手紙を届けることにしました。



『二ワシドリの ひみつをもとめて ものづくりする鳥の ふしぎをさぐる旅』

鈴木まもる/著 理論社



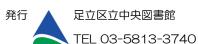
作者は、子どものころ東屋のような巣を作る鳥の本を見つけた。その鳥は、庭師ににていることから「ニワシドリ」と言われている。何のためにそんな巣を作るのか。そのひみつを求めて旅に出た。



『ひと箱本屋と ひみつの友だち』

赤羽じゅんこ/作 はらぐちあつこ/絵 さ・え・ら書房

ひと箱本屋カフェ「ŠHIORI」を訪れた朱莉は、そこで売られていた手作りの本に目がとまった。作者が同年代だと知り、会いたくなった朱莉は、手紙を書いてお店に預けることにした。



助ける



『ぼくらの

まるひかがいじゅぎょう

佐和みずえ/作 仁保知行/絵 小峰書店





『人間に

なりたかった犬』

今西乃子/作 福田岩緒/絵 新日本出版社

大童神社で飼われている犬のシロは、7回も生まれ変わったのに人間になれない。そこで前世は犬だった宮司が、1日12時間だけ人間になれるお札をくれる。シロの小学生に化けた生活が始まる。



『フォグ

霧の色をしたオオカミ』

マルタ・パ[°] ラッツェージ^{*} /作 杉本あり/訳 Naffy/イラスト 岩崎書店

19世紀のロンドン。孤児のクレイが、街にやってきたサーカスにもぐりこむと、美しいオオカミが、調教師からひどいあつかいをされているのを目にする。クレイは、オオカミを森に返す計画をたてる。





知ると分かる。 すると変わる。 SDGs MODEL ADACHI

5·6年生 **まつまれる。ままして** 足立区立図書館

新たな発見や楽しさに出会おう!

ふだんは読まないジャンルの本にチャレンジすると、 きっと新たな発見や楽しさに出会えるよ!



不思議

『直紀とふしぎな庭』

山下みゆき/作 もなか/絵 静山社





住むところを探していたぼくのおじさんは、白い子猫に 尊かれるようにして、古い貸家を見つけた。庭付き一軒家が月5千円と知り、さっそく引っ越した。でも、そこには何やら強い霊気がただよっていたのだ。



あだち電子図書館で読める本



読みやすい本







『オリヒメ 人と人をつなぐ 分身ロボット』

吉藤オリィ/著 加藤悦子/文 子どもの未来社



オリヒメは体が不自由な人たちの分身ロボットです。 学校に行けず悔しい思いをしたオリィさんの経験が 開発につながりました。では、オリヒメはどんな場所 ^{かつやく} で活躍しているのでしょうか。



『ぼくたちのいばしょ かめじましょうたこくせきたんてい **亀鳥小多国籍探偵クラブ**』

蒔田浩平/作 酒井以/絵 文研出版



はるま ひでのり 春馬と秀則が活動している新聞委員会に、ネパー ルからやってきた転校生サラダが新たに加わること になった。お互いの言語や文化を知っていくうちに、 3人は仲良くなっていく。

未来へ伝える



『ニコラ・テスラ ものがたり "雷気の魔術師"と よばれた男』

アザデー・ウェスターガード/文 フリア・サルダ /絵 大山泉/訳 評論社

^{ಕょうみ} 幼 い頃に電気に興味を持ち、次々と便利な道具 を発明したニコラ。後に「電気の魔術師」とよば れ、レーダーやエックス線などを考え出したニコラ・ テスラの人生をたどってみましょう。



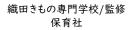
『アンナの戦争

キンダートランスポートの 少女の物語』

> ヘレン・ピーターズ/作 尾崎愛子/訳 偕成社

1930年代のドイツでは、ユダヤ人への迫害が始 まっていた。ユダヤ人一家のアンナは、12歳で家 族とはなれイギリスへ避難する。ようやく新しい生 活が始まったのもつかの間、ある事件が起きる。

『楽しむ伝統文化 着物 1』



してんとう 日本の伝統文化として知られる着物。着るのが 難 しいイメージがあって、身近に感じられない人もいる のではないでしょうか。でも実は、ファッションの一つ として楽しめるものなのです。



『死者のひみつ 世界のミイラ』

マット・ラルフス/文 大英博物館/監修 ゴールディ・ライト/絵 山根玲子/訳 和田浩一郎/日本語版監修 BL 出版

古代エジプトのツタンカーメンや、イランのソルトマ ン。世界各地で発見されているミイラを調べてみる と、当時の生活や文化がわかります。どんなひみつ がかくされているのか、探ってみましょう。

成長する



読みやすい本には ハムハムがいるよ © Yo & Motoko



『今日も ピアノ・ピアーノ』

有本綾/作 今日75子/絵 Gakken



ゲームを取り上げられ、沈んだ気持ちで塾に向か った海斗。駅からピアノの音が聞こえてきた。おじい さんが弾く音はなんだかほっとする。立ち上がるお じいさんに海斗はあわてて話しかけてしまった。



『エール! 主人公なぼくら』

室賀理江/作 ふるり/絵 文研出版



5年生になってすぐ、運動会の係を決めることにな った。目立たない大地は、希望者の少ない「テープ 係」になろうと思ったけど、人気者の陽介がなぜか だいち おうえんだん すいせん 大地を応援団に推薦した。



『波あとが 白く輝いている』

蒼沼洋人/著 講談社



ななみ さい しんさい な 小6の七海は、1歳の時に母を震災で亡くし、母の ^{きおく} 記憶がほとんどない。ある時、母の小学校時代の こうかん 同級生から交換日記を渡される。そこには、生き生



『ブラックバード の歌』

カチャ・ベーレン/著 千葉茂樹/訳 鈴木まもる/画 あすなろ書房

フルートが生きがいだったのに、事故で手をけがし てしまったアニー。リハビリする気になれずにいたと き、歌をうたうブラックバードと、その鳥の巣作りを 見守る少年ノアに出会う。



いかと取り組むことにしました。

『捨てられる魚たち 「未利用魚」から生まれた

梛木春幸/著 講談社



そのまま捨てられてしまう魚のことを「未利用魚」と いいます。料理人の梛木さんは、日本の漁獲量の 約3割にものぼる未利用魚問題を、なんとかできな



『なんてくさいんだ! ロンドンを教った ジョゼフの物語』

コリーン・ペ フ/文 ナンシー・カーへ。ンター/絵 金原瑞人/訳 あかつき教育図書

1800年代のロンドン・テムズ川は排泄物にあふ

れていた。何度も伝染病がはやり、なくなる人もい た。ロンドンを健康的な場所にしたかった土木技師 のジョゼフは、ある計画を提出することにした。